


令和7年度 「おかしん先端科学奨学金制度」 奨学生によるオンライン成果発表会

2026年3月26日(木)～

このたびは、「おかしん先端科学奨学金制度」奨学生による成果発表会をご覧いただき誠にありがとうございます。各写真の  をクリックすると動画が始まります。(外部サイトへ移行)
皆様この機会に先端科学の世界を身近に感じていただき、お楽しみください。

おかしん
先端科学
奨学金制度

岡崎信用金庫は、大学共同利用機関法人自然科学研究機構（基礎生物学研究所、生理学研究所、分子科学研究所）と地域連携協定を結び、岡崎市を中心とした地域における教育支援等の活動において、地域社会の発展と人材の育成に寄与することを目的に、平成24年8月「おかしん先端科学奨学金制度」を創設し、平成24年度より奨学金の支給を始めました。

プログラム

1. 主催者挨拶

岡崎信用金庫 地域振興部 部長 八木 則行



2. 大学共同利用機関法人 自然科学研究機構様 ご挨拶

基礎生物学研究所 所長 三浦 正幸 様



3. 奨学生(総合研究大学院大学生)による成果発表

- 近赤外蛍光タンパク質を使って
生きた細胞内でタンパク質間の
相互作用をはかる

基礎生物学研究所

遠山 藍夏 氏



発表の概要

細胞周期は1つの細胞が2つに分裂する過程であり、複数の因子によって厳密に制御されている。サイクリン依存性キナーゼ(CDK)と呼ばれるタンパク質は、サイクリンタンパク質の結合により活性化され、細胞周期進行を制御する。哺乳類はサイクリン、CDKをそれぞれ複数種類もつが、生きた細胞内でサイクリンとCDKがどの程度の強さで結合しているか網羅的に比較した報告はない。本研究では蛍光相互相関分光法により、生きた哺乳類培養細胞で36ペアのサイクリン-CDK複合体の親和性を定量した。

- 学習中のシナプス可塑性に
おけるミクログリアの寄与

生理学研究所

TIRPATHI Swati 氏



発表の概要

学習中のシナプス可塑性を制御するミクログリアの役割、およびシナプスのリモデリングを活性化するメカニズムは、依然として不明である。我々は、ひげ依存性振動弁別課題を行うマウスを用いてこの現象を研究している。生体内2光子イメージングにより、学習によってベースラインと比較してスパイン形成が増加し、課題成績の向上と相関していることが明らかになった。ミクログリアを薬理的に除去すると、学習獲得が阻害された。現在進行中の研究により、これらの学習障害は正常マウスのスパインダイナミクスの変化に関連していることが示されている。

お問い合わせ先

岡崎信用金庫 地域振興部 TEL : 0564-25-7213 受付時間/9:00~17:00(土・日・祝日を除く)